

社会福祉法人 尚栄福社会「保育課程」

運営方針及び目的

- (1) 当園は、保育の提供にあたり、利用する子どもの最善の利益を考慮し、その福祉を積極的に増進することに最もふさわしい生活の場であるよう努めます。
- (2) 当園は、その目的を達成するために、保育に関する専門性を有する職員が、家庭との緊密な連携の下に、子どもの状況や発達過程を踏まえ、保育園における環境を通して、養護及び教育を一体的に提供します。
- (3) 当園は、利用する子どもを保育するとともに、家庭や地域の様々な社会資源との連携を図りながら、利用する子どもの保護者に対する支援及び地域の子育て家庭に対する支援等を行います。

保育目的

- ◆児童にとって良質の育成環境（養護と教育）を提供する施設運営をめざす。
- ◆地域における子育ての拠点の場としての施設運営をめざす。
- ◆児童の健康増進に配慮した施設運営をめざす。
- ◆児童の心の拠り所となる施設運営をめざす。
- ◆保護者のメンタルサポートに配慮した施設運営をめざす。

保育方針

◎通常通所児童◎

- ◆保護者ととともに児童が健全に育つサポートを行う。
- ◆利用者のニーズに応える最善の保育、教育を行う。
- ◆母子、父子間の愛情の増進に努める保育を行う。
- ◆家庭とともに児童の生活リズムを整える活動を行う。
- ◆児童の人間としての大きさの拡大をはかる保育を行う。
- ◆安全管理・環境衛生管理を向上させ、児童の健康管理に努める。
- ◆児童の知性、理性、感性を育てる保育を行う。
- ◆児童が本来持つ運動機能を伸ばす保育を行う。
- ◆人に対して、動植物、物に対して愛情と思いやりを育む保育を行う。

◎一時保育児童◎

- ◆児童の情緒の安定を図り保育を行います。
- ◆心身のゆとりのある保育を行います。
- ※保護者のメンタルケアへの配慮

保育目標

* 健康な子ども

児童の運動の充実を図り心身の強化に努める。
年間を通して薄着、裸足で過ごす。
乳児期の環境を清潔に保ち、身体の管理のもと健康維持に努める。

* 自立心と自主性をもつ子ども

より多くの体験、経験する、自己判断による行動をする機会を持つ。
物事に積極的に係わる心を育てる。
自信を持って積極的な自己表現を行う。

* 生活習慣を身に付けた子ども

あいさつを言語、態度で表現する。
食事、排泄、衣服等の一般生活習慣が年齢に即した自己管理をする。
手洗い、うがい、睡眠などの健康管理が年齢に即した自己管理をする。

* 豊かな心と表現力を持つ子ども

お友だちと仲良く一緒に遊べる子ども。
人に対して優しく、人の気持ちを理解し行動する子ども。
自然や動植物等に興味を持ち共存を考えられる子ども。
様々な物に対して、又機会において自己の感性、個性を表現する子ども。
発想力と情操の豊かな子ども。

* 食への興味を持つ子ども（食育）

空腹感、満腹感を知り食べることに意欲を感じる。
色々な食材を食べ、味覚を感じる。
色々な食材が有ることを知り、調理に興味を持ち体験を行う。
食材を栽培や収穫、買い出しなどの体験を通して興味を持つ。
簡単なテーブルマナーを知り、食事を楽しむ。

* 知識の向上を探る

言語による表現力、交流術を身に付ける。
音楽による表現力、交流術、鑑賞力を身に付ける。
絵画、造形物による表現力、鑑賞力を身に付ける。
自然、動植物の生態、特徴などを知る。
数、大小、高低、広い狭いなどの対照を含めて知る。
自分の体を知り、鍛え運動に繋げる。

年齢別目標

- 0 歳児 ・一人ひとりの生活リズムをつくる ・色々な人と接触をする
- 1 歳児 ・お友達など色々な人と接し個別認識をする ・自己主張をする
- 2 歳児 ・お友達など色々な人と係る ・自己調整を始める
- 3 歳児 ・お友達など人との係りを楽しむ ・ルールを知る ・集団での活動を知る
- 4 歳児 ・お友達など人に対する思いやりを知る ・ルールを身に着ける
- 5 歳児 ・お友達など周りの人との係りを持つ ・社会性を持つ

養護

- 0 歳児 ・のびのびと過ごす ・安心感と信頼感を育てる
- 1 歳児 ・自我の芽生え、自己満足感を尊重する ・人間関係をつくる
- 2 歳児 ・喜怒哀楽を伝える ・人間関係をつくる
- 3 歳児 ・生活リズムが芽生える ・自己の達成感を楽しむ
- 4 歳児 ・生活習慣を知る ・環境を楽しむ
- 5 歳児 ・自主性を持つ ・環境を楽しむ

教育

- 0 歳児 ・手足を使って遊ぶ ・口をいっぱい動かす ・物を観る ・物に触れてみる
・言葉や音を聴く ・においを嗅ぐ
- 1 歳児 ・指先を使った遊びをする ・発声を使って遊ぶ ・手足の感触を楽しむ ・リズムを楽しむ ・体のバランス遊びをする
- 2 歳児 ・好奇心を持つ ・会話を楽しむ ・動植物に興味を持つ ・乗り物など動く物に興味を持つ ・身体能力を楽しむ ・リズムで遊ぶ ・工作物で遊ぶ
- 3 歳児 ・試みる気持ちを持つ ・会話力を上げる ・名称、感情などの言葉を使う ・接続語を正しく使う ・体力向上を図る ・動植物に興味を持つ ・絵画、工作物を楽しむ ・色の認識をする ・リズム表現を楽しむ
- 4 歳児 ・試みた結果を楽しむ ・会話による自己表現をする ・活字への興味を持つ ・体力向上を図る ・動植物に興味を持つ ・絵画、工作物を楽しむ ・リズム表現で楽器演奏やダンスなどを楽しむ
- 5 歳児 ・自己表現力を身に着ける ・経験を重ねる ・体力向上を図る ・読書を楽しむ
・活字をかく ・自然物、人工物など自分の周りの状況を知る ・動植物に興味を持つ ・絵画、工作物を楽しむ ・リズム表現で楽器演奏やダンスなどを楽しむ

食育

- 0 歳児 ・満腹感、空腹感を感じる ・自分から食そうとする
- 1 歳児 ・満腹感、空腹感を感じる ・食べることに興味を持つ ・様々な食材を食す
- 2 歳児 ・満腹感、空腹感を感じる ・色々な食べ物を知る ・味覚を感じる
- 3 歳児 ・満腹感、空腹感を知る ・食材について知る ・味覚を楽しむ
- 4 歳児 ・満腹感、空腹感を知る ・食材の栽培、収穫を試みる ・調理を試みる
- 5 歳児 ・満腹感、空腹感を知る ・食材の栽培、収穫を試みる ・調理を試みる

健康・安全・衛生

- ・ 定期健康診断を受ける ・ 適度な排便、排尿をする ・ 適度な水分補給をする
- ・ 手洗い、うがいを行う ・ 適度な運動で汗をかく ・ 体に気持ちよく衛生面を保つ
- ・ 固定遊具、保育材料に破損がないか確認する ・ 段差などの転倒に注意する
- ・ 指挟みの恐れのある場所を確認する
- ・ 部屋の換気、空気清浄をする ・ 定期的清掃と除菌をする ・ 適度な被服の着替えをする
- ・ 食材、水、食器の管理をする

保護者・地域への支援

- ・ 保護者に子育て情報を提供する（研修も含む）
- ・ 保護者とのコミュニケーションをとる（面接や懇談会を含む）
- ・ 園庭開放、施設開放などを行う
- ・ 子育て中の保護者の相談を受ける

研修計画

- ・ 外部講師を招いた施設内研修を年4回行う
- ・ 自主研修（心肺蘇生、手遊び）を年2回行う
- ・ 法人保育士研修（心構え、幼児職員編、乳児職員編）
- ・ 入職時新任研修（就業規則等その他規程、心構え、書類の書き方、遊び方、話し方など）

小学校との連携

- ・ 年長児と小学生との交流会（対象1年生、6年生）
- ・ 年長児担任の小学校授業参観、研修会の参加
- ・ 卒園児情報交換会の参加
- ・ 小学生の職業体験など社会学習を受け入れる